

8月のてがたんにご参加いただきありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。

次回9月のてがたんは9月9日(土)で、テーマは「昔はいなかった生きものたち」です。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見は、8月27日(日)の9:30からです。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→親水広場→けやき広場
- 観察日時と天気：2017年8月12日(土) 10:00~12:00 くもり
- 参加人数：19名(大人14名、小学生以下5名)
- 市民スタッフ：6名(染谷迪夫、保田行弘、伊東茂子、木村 稔、小泉伸夫、湯瀬一栄)
- 鳥博職員：2名(岩本二郎・小田谷嘉弥) ●学芸員実習生4名、インターンシップ1名、
教員研修1名

観察した生き物の記録(下見を含む)

【トンボ】

イトトンボ科：アオモンイトトンボ、アジアイトトンボ、セスジイトトンボ/ヤンマ科：ギンヤンマ/サナエトンボ科：ウチワヤンマ/オニヤンマ科：オニヤンマ/ヤマトンボ科：オオヤマトンボ/トンボ科：シオカラトンボ、コシアキトンボ、コフキトンボ(オビトンボ型を含む)、ウスバキトンボ、チョウトンボ

【魚】

モツゴ、タモロコ、ギンブナ、ドジョウ、ヨシノボリの仲間、カダヤシ(外来種)、タイリクバラタナゴ(外来種)

【鳥類】

カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ(声のみ)/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン(声のみ)/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス(声のみ)/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ホオジロ科：ホオジロ/家禽や外来種：コバクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

【爬虫類・両生類】

ニホンカナヘビ、ミシシippアカミミガメ、ニホンアマガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエル

【昆虫】

チョウ目：クロアゲハ、ジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ、ナミアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、アカボシゴマダラ、コムラサキ、キタテハ、コムシジ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、モンシロチョウ、キタキチョウ、オオスカシバ、ホウジャクの仲間、イチモンジセセリ/コウチュウ目：カナブン、マメコガネ、コガネムシ、ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、ヤマトタマムシ、チビタマムシの仲間、ニワハンミョウ/カメムシ目：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、アメンボ、ヨコヅナサシガメ、カスミカメの仲間/カマキリ目：カマキリ/バッタ目：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、クルマバッタ、エンマコオロギ、モリオカメコオロギ、ミツカドコオロギ、ウスイロササキリ、クビキリギス/ハチ目：コアシナガバチ、キイロスズメバチ、ベッコウバチの仲間

【甲殻類】

アメリカザリガニ、スジエビ

【クモ】

ナガコガネグモ、コガネグモ、ジョロウグモ、オニグモ、ゴミグモ、アシナガグモ、イナズマハエトリ、コクサグモ、コマチグモの仲間、ハシリグモの仲間、アリグモの仲間

【花】

キク科：オオアレチノギク、ハキダメギク、ノゲシ、ブタナ、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、ヒメムカシモギ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ、コマツヨイグサ、アレチマツヨイグサ/マメ科：シロツメクサ、アカツメクサ、ヤマハギ(木)/アカネ科：ヘクソカズラ/ウリ科：カラスウリ/ガマ科：ガマ/タデ科：イヌタデ、オオイヌタデ、ソバ/オモダカ科：オモダカ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/イネ科：ヨシ、マコモ/ブドウ科：ヤブカラシ/オオバコ科：オオバコ/アオイ科：ムクゲ(木)/キョウチクトウ科：キョウチクトウ(木)/ヒユ科：ナガエツルノゲイトウ/ツユクサ科：ツユクサ/ナス科：ワルナスビ

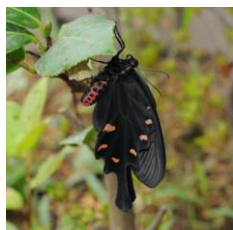
観察した生き物の記録



今回のてがたんのテーマは「ヨシ原と沼のトンボ」でした。トンボを中心に沼沿いのヨシ原に暮らす生き物を観察しました。2か所に魚を捕るもんどりをしかけ、かかった魚なども観察しました。



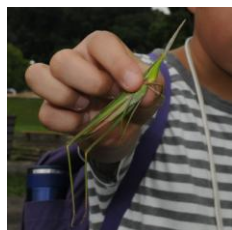
今月の案内人 染谷迪夫さん、保田行弘さん



①羽化したばかりのジャコウアゲハの雄



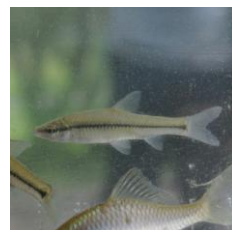
②建物の壁にいたイナズマハエトリ



③道端で捕まえたショウリョウバッタのメス 未熟な個体



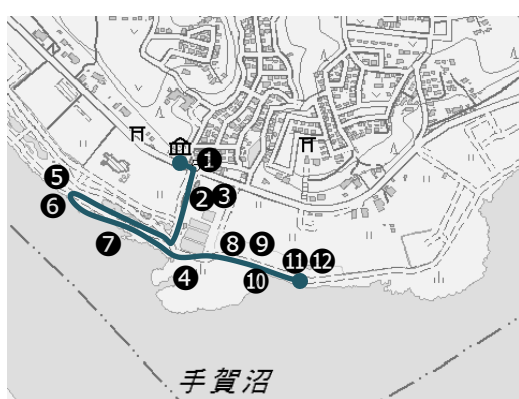
⑤シオカラトンボの



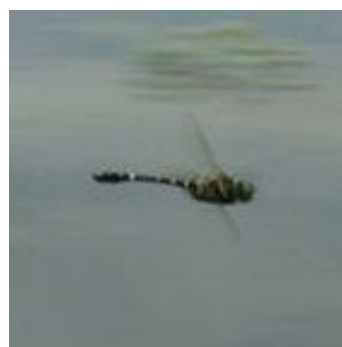
⑥一番多く捕獲されたモツゴ（別名クチボソ）



④手賀沼のヨシ原は、ヨシ・マコモ・ヒメガマの3種から構成されています。多くの生き物の繁殖・生活の場所として重要なはたらきをしています。



歩いたルートと観察した生き物



⑦トンボは幼虫（ヤゴ）の期間を水中で過ごし、種類ごとに住む環境が異なります。オオヤマトンボは水深の深い沼を好みます。



⑧アブラゼミの抜けがらがあちこちで見られました



⑨水辺の草地にいたアオモンイトトンボ



⑩産卵管が伸びたタイリクバラタナゴのメス



⑪翅が折れてしまったニワハンミョウ



⑫広場の草地にいたクビキリギスの幼虫

今月の鳥 ヨシゴイ ペリカン目サギ科

ヨシゴイは、日本最小のサギのひとつで、その名の通りヨシ原を好む鳥で、ヨシ原の際や水田で小さい魚や昆虫を食べます。5月ごろ手賀沼に渡来し、「オー、オー」と囀ります。繁殖を終えた後も10月ごろまで見られます。他のサギ類と同様に、首をたたんでふわふわとした羽ばたきでヨシ原の上を飛びます。しばしばルーズコロニーと呼ばれる集団で繁殖することもあり、ヒメガマの中に好んで巣を作り、4-6卵を産みます。

以前は手賀沼でもまとまった数が見られましたが、最近では個体数が減っているようです。秋の渡りの時期には、繁殖していない湿地でも見られることがあるので、身近な湿地でヨシゴイの姿を探してみてください。



ヨシに上手に止まるヨシゴイ